



# 多文化共生としての

# 舞踊芸術

第5回

## ミュージカル

講師 高橋 知伽江 (たかはし ちかえ) (脚本家、翻訳家)

ミュージカルと音楽劇の違いをご存じでしょうか。ミュージカルは芝居に歌やダンスが加わっただけと誤解している方、多いのではないのでしょうか。身近なようで実はあまり理解されていないこのジャンルに親しんでいただくために、ミュージカルにおいて「歌」がどのような力を持っているのか、どのような飛躍が可能になるのかを実例をあげながらご説明したいと思えます。また、「多文化共生」という本セミナーのテーマを鑑みて、舞台上で二つの言語(日本語+外国語)が話される2作品を例にとり、どのようにコミュニケーションまたはディスコミュニケーションを描くか、舞台ならではの難しさの一端に触れていただきます。



Profile  
高橋 知伽江

東京外国語大学ロシア語科卒。フリーランスで演劇台本の執筆、翻訳、訳詞を手がける。なかでも『誓いのコイン』『手紙』『生きる』等オリジナルミュージカルの創作に力を入れ、来年開幕の劇団四季『バケモノの子』で脚本を担当。『アナと雪の女王』等ディズニー映画の訳詞多数。本年、翻訳・訳詞をした舞台は『アリージャンス〜忠誠〜』、『アナと雪の女王』等。第4回小田島雄志・翻訳戯曲賞、第23回読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。

## 2021年8月18日(水)18:00~19:30

### Zoomウェビナーでのオンライン開催

- 使用言語: 日本語
- 参加費: 無料
- 事前申し込みが必要です。(本学学生優先。先着受付順)
- 参加ご希望の方は、8月17日(火)17:00(日本時間)までに、右の二次元バーコードを読み取り、参加登録フォームより事前登録をお願いいたします。
- ホームページからも登録できます。



[http://www.tufs.ac.jp/event/2021/210818\\_1.html](http://www.tufs.ac.jp/event/2021/210818_1.html)

● 問い合わせ先: [nukyoko@tufs.ac.jp](mailto:nukyoko@tufs.ac.jp) (沼野恭子)

予告 多文化教育プロジェクト 連続セミナー

- 第6回「舞踊」永田宜子(新国立劇場 前研修主管参事(元舞踊チーフプロデューサー))
- 第7回「日本の古典演劇」小早川修(能楽師)
- 第8回「日本の現代演劇」内野儀(学習院女子大学教授、アメリカ演劇・日本現代演劇)

主催: 総合文化研究所 / 共催: 語劇支援室